

## 特別寄稿

伝統と実績の学生寮「久敬社」  
来春より女子学生も受け入れ開始

公益財団法人 久敬社

理事長 古賀 栄一

百四十有余年の間、久敬社は同郷人の懇親と育英事業を続け、数多くの若者を世に送り出しています。来年四月には、女子学生の受け入れも始めることとなりました。これまでの歴史と現況について簡潔に紹介いたします。



食堂にて、厳選食材を使った栄養バランスに優れた食事

## ●高橋是清を追いかけて

唐津では明治四年、新時代の人材育成のために英学塾「耐恒寮」を唐津城内に創設し、後の日銀総裁、大蔵大臣、内閣総理大臣を務めた高橋是清を英語教師として招聘しました。将来への不安と夢を抱いていた少年達は、こぞって「耐恒寮」へ入学し、熱心に英語を学びました。生徒には、後に東京駅を設計した辰野金吾を始め、曾禰達蔵、天野為之、掛下重次郎、吉原政道、大島小太郎等がいました。

しかしながら廃藩置県後に行政組織が変わると、「耐恒寮」継続は資金的に困難との見通しかから、程なく閉鎖され高橋是清は東京に戻りました。すると、向学心に火がついた生徒達は競って高橋を追い上京しました。

●久敬社誕生から百五十周年へ  
上京した彼らは勉学に勤しみ、

明治十一年、最後の唐津藩主だった番町（現在の千代田区）の小笠原家の一室を借りて「久敬社」は産声をあげました。青雲の志に燃えたもの同士が毎月一回必ず会合しては茶話会を開き、研鑽修養を積み、明治維新以降の日本の近代化に貢献した多くの人材がこの「久敬社」から育っていきました。

やがて、勉学のために郷里から上京する若者が多くなると、寄宿舎の開設が切望され、その願いが叶って明治十九年、小笠原家当主・長行公の篤志により屋敷の一角に寄宿舎「久敬社塾」が誕生しました。

昭和四十一年、小田急線沿線の現在の場所（最寄駅は新百合ヶ丘駅、百合ヶ丘駅）へ移転し新塾舎を建設し、昭和五八年には百周年を迎えることができました。周年もなく久敬社創設から百五十周年を迎えようとしています。

## ●全国の学生へ門戸開放

創設時の経緯から、かつては唐津市に縁のある学生に入寮を限定していました。しかし、向学心に燃える地方の若者を応援するという小笠原公の精神に則し、公益財団法人となったのを機に、唐津市に限らず佐賀や福岡県他全国の学生に対して広く

門戸を開放しています。

## ●女子学生入寮をいち早く実現

前述の「耐恒寮」は女子にも門戸を開いています。曾禰達蔵の妹よう子等数名の女子もここで学びました。将来の女子教育の基礎を築くため、高橋是清は彼女達を女性教師として育てようとしたのです。この時代の常識を超えた先見性でした。

男女ほぼ同数が進学する昨今、久敬社では来春から女子学生の受け入れを始めることにしました。セキュリティの強化は無論のこと、バスルームやトイレ等は専用に、談話室や食堂等は男女共用のスペースとして、準備を進めています。

## ●小田急バス全線定期代を半額補助

学ぶ意欲を持つ若者をサポートする創設時の精神は今も引き継がれています。月々の費用は寮費や光熱費を含め、朝夕二食付きで約四万五千円〜五万五千円と格安です。

この春新型コロナウイルスの影響で大学の授業がリモートとなり、故郷に戻って講義を受ける寮生もいました。当然ながらアルバイトもできず、そういう学生のための緊急支援策として、上京しなかった数ヶ月間は寮費を特別に安くす

る措置をとりました。さらに来春からは、最寄駅までのバス定期券代（小田急バスの全線定期代）を半額補助することとしました。

### ●久敬社の仲間達は最高の財産

部屋は全室個室なので、勉強に集中したい時、趣味を大切にしたい時、静かに寛いでいたい時等、プライベートをしっかり保てます。

一方、唐津市・佐賀市の他、福岡や長崎等近隣エリア出身の仲間が身近にいるのはとても心強いことです。『寮生活は窮屈なイメージを持つていたが、実際に生活してみたらそんなことはなかった』と学生達は言います。むしろ『安心・安全な生活基盤があるからこそ、のびのびと楽しめた』という声が圧倒的に多いのです。

空間や時間を共有することで深まっていく人間関係。一緒に過ごした仲間達は久敬社で得ることのできる最高の財産です。寮の行事では地域の自治会との交流もあり、学生達の人間的な成長につながっています。

### ●インターンとOBネットワーク

就活の第一歩とも言えるインターンシップは、首都圏に住んでいれば費用も時間もあまり気にすることなく積極的に参加できます。

又、多種多様な分野で活躍す

るOBが数多くいるのは、長い歴史を持つ久敬社ならではのOBと知り合えるのは大きなチャンスであり、首都圏に人脈の少ない寮生達にとって精神的な支えになる上、飛躍のきっかけとなる可能性があります。

### ●塾監夫妻の心温かいサポート

上京しての一人暮らしは、孤独感や偏った食生活から健康を損なう学生も少なくありません。生活面をしっかりサポートしてくれる久敬社であればそれも安心です。

校長や校長会会長を経験した佐賀県出身の塾監夫妻が常駐し、生活全般の指導の他、急病や負傷時の対応、悩み相談等、心身両面で親身になって支えてくれます。



学生たちを温かくサポートする山崎塾監夫妻

首都圏の大学・大学院、短大、専門学校等へ入学予定又は在学中の方を対象

2021.4より女子学生も受け入れ開始！

1878年、旧唐津藩主小笠原家が創設

# [学生寮]久敬社

高橋是清を追って上京した  
辰野金吾、曾根達蔵、  
天野為之などが一期生。

安心 × 安全 × 安い

朝夕2食付きで  
月々5万円前後  
※更に小田急バス全線  
定期代の半額を補助

- 塾監夫妻が常駐し、心身両面できめ細かくサポート。
- 治安のよい閑静な住宅街に立地し、駅周辺は金融機関や病院・交番、買物スポットが充実。
- 厳選した安心・新鮮食材を使い、栄養バランスやカロリーに配慮した朝夕2食を提供。
- 個室・共用スペースの設備が整っているため、入寮時の費用が最小限で済み、月々の費用もとても経済的。
- 通学に便利な小田急線新百合ヶ丘駅よりバスで6分。

〒215-0005 神奈川県川崎市麻生区千代ヶ丘2-4-14



電話:044-966-1093

塾監:山崎

久敬社 で検索

